

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひと葉		
○保護者評価実施期間	2026年 5月 1日		～ 2026年 5月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 5月 19日		～ 2026年 5月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性に応じた多様な活動の提供 ※個別支援計画に基づく支援が現場で適切に実施されているか継続的に確認し、児童がルールや活動内容を理解しながら主体的に活動へ参加できる支援環境の整備に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 児童の特性や活動内容に応じてグループ分けやスペース確保を行い、集中しやすい環境設定に努めている。 また、プログラム立案時には児童の興味関心や選択を取り入れ、主体的に参加できる活動づくりを行っている。さらに、定期的な活動会議を通して、活動内容や支援方法の見直しを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の根拠を明確化するため、支援記録のデータ化および閲覧・管理体制の整備を進める。また、外部スーパーバイザー等を活用した事例検討を実施し、職員の専門性向上を図ることで、児童一人ひとりに応じた活動提供の充実に努める。
2	<ul style="list-style-type: none"> LINE等を活用した密な情報共有と相談体制 ※全職員が保護者の意向や細かなニーズを共有し、統一した支援対応が行えるよう家庭との連携体制の充実に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の活動内容や児童の様子についてLINEで共有し、保護者との迅速な情報共有に努めている。また、相談内容に応じてLINEや面談等を活用し、迅速かつ丁寧な助言・支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の連絡体制を継続するとともに、職員間会議等を通じた情報共有体制のさらなる充実を図る。また、保護者から寄せられた意見や要望を多角的に把握し、組織的な家族支援体制の強化に努める。
3	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容や発達段階に応じた環境設定 ※児童が活動のルールや見通しを理解し、自立的に行動を選択できる環境づくりに努めている。また、活動内容や児童の状態に応じた空間設定について継続的な見直しを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 活動メンバーやプログラム内容に応じて適切にスペースを分け、少人数グループでの支援を行うことで、落ち着いて過ごせる環境設定に努めている。また、絵カードや掲示物等を活用した視覚支援を行い、児童が理解しやすい構造化された環境づくりを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールやマナーに関する視覚支援をさらに充実させ、児童の理解促進につなげる。また、PDCAサイクルに基づく会議や記録の見直しを継続的に行い、児童の発達段階やニーズに応じた環境設定となっているか検証し、支援の質向上に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 体系的な家族支援プログラム(学びの場)の不足 ※保護者が子どもとの関わり方等を学ぶ機会となる「ペアレント・トレーニング」や専門的な学習機会の提供が十分ではない。	<ul style="list-style-type: none"> LINEや面談による個別相談・助言は実施しているものの、保護者が継続的かつ体系的に学ぶことができる支援プログラムの整備が十分ではなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けのペアレント・トレーニングや専門研修会を計画的に実施し、家庭における養育力向上を支援するプログラムの具体化に努める。
2	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流の活性化およびインクルージョン推進に関する課題 ※地域住民や地域の子どもの交流、ならびに保育園・小学校等との情報共有を通じたインクルージョン推進について、さらなる充実が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流イベントは実施しているものの、周知や日程調整等の課題により参加率向上に至っていない。また、関係機関との情報共有や連携体制について、継続的な強化が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や地域の子どもが参加しやすい交流機会を継続的に設定するとともに、学校行事等に配慮した日程調整を行う。また、園や学校との情報共有および相互理解を深め、切れ目のない支援体制の構築に努める。
3	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練や各種研修(BCP・感染症・虐待防止等)に関する周知不足 ※非常災害時の対応や各種研修の実施状況について、保護者への情報提供が十分ではない。	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練や各種研修自体は定期的実施しているものの、各種マニュアルや安全計画について、保護者へ継続的に説明・周知する体制整備が十分ではなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に各種マニュアルおよび安全計画を保護者へ周知するとともに、訓練・研修実施後にはLINE等を活用して内容を発信し、安全対策の可視化と保護者の安心感向上に努める。